



児嶋よしひこ (志政会所属)

議会だより

令和 8 年 1 月発行
発行／静岡市議会志政会
編集／志政会 広報部
〒420-8602
葵区追手町 5-1 本館 2 階
Tel: 054-653-3412

11 月議会

令和 7 年 11 月議会が 11 月 15 日～12 月 11 日まで会期 33 日で開かれました。私は 12 月 2 日の個人質問で登壇し、10 月に宇都宮市で開催された全国都市問題会議の内容を参考に、1. 地域公共交通について、2. 静岡都心のまちづくりについて、3. 市営スポーツ施設の活用について、4. 市有建築物の維持管理について、本市の取組を質問しました。(以下は質問抜粋です)



1. 地域公共交通について

宇都宮市では 2023 年に次世代型路面電車 LRT が運行し、LRT 主要駅の乗り継ぎ利便性も向上したことから、通勤を自動車から LRT に転換した人が増え、交通渋滞が改善しました。また、路線バスがないエリアには、地域住民組織が運行主体となり、タクシー会社へ乗合タクシーを委託する地域内交通を整備しました。

福岡県糸島市でも、事前に予約して自宅近くのバス停で乗車できるワンボックスタイプのオンデマンドバスで、路線バスのないエリアを補っていました。



宇都宮市の次世代型路面電車 LRT

Q 鉄道と路線バスとの接続
に対しての市の考えはど
のようですか。

A 静岡駅、東静岡駅、清水駅周辺は「都市拠点」として鉄道やバスの維持・充実に掲げていますが、静岡駅以外の駅と路線バスとの接続は十分とは言えません。今後、東静岡駅周辺や清水駅周辺では、まちづくりに即した路線バス網整備や鉄道との接続強化など、アクセス改善に向けた検討を進めていきます。

Q 路線バスのサービスが不
十分な地域への市の取組
はどうなっていますか。

A 路線バスの撤退による「交通空白地」や、距離や高低差などによりバス停までの移動が困難となっている地域の移動手段を確保するため、一般ドライバーを担い手として、地域が運行主体となる移動手段を支援する制度を創設し、公共交通の担い手を確保し、路線バスのサービスが不十分な地域での移動手段の充実に努めていきます。

2. 静岡都心のまちづくりについて

アメリカの地方都市は完全な自動車社会で、巨大モールの出現により中心市街地が荒廃する一方、ヨーロッパでは地方の中小都市でも商店街が地域にしっかり根付いた形で存続し、子どもから高齢者まで様々な世代がゆっくりくつろいで過ごせるコミュニティ空間になっています。

本市では、呉服町商店街は賑わいがありながらも、ゆっくりくつろいで過ごせるベンチなどは少なく、青葉シンボルロードも老朽化が進んでおり、居心地の良い滞留空間は少ないと思います。



Q 静岡都心において、滞留
空間を創出していくため
にどのように取り組んで
いきますか。

A 静岡都心には、駿府城公園や青葉シンボルロード、静岡駅の南北の駅前広場といった公共空間があるものの、まちなかの滞留空間として十分に機能していません。滞留空間を歩行者や車両の動線と分離することや日よけの設置など、空間全体の質の向上を図りつつ、歩行者の多い通りに滞留空間を増やし、静岡都心全体を歩いて楽しい空間としていきます。

3. 市営スポーツ施設の活用について

本市の市営スポーツ施設では、休日や平日の夜間は予約をとるのが難しいくらい利用率が高くなっていますが、利用手続きや料金の支払いに手間がかかり、隣の空いているテニスコートを使おうとしても、料金の支払いまで済ませないと使えないという声がありました。

利用手続きについては、順次オンラインで実施できるようになりましたが、オンライン決済については今年度から開始されました。



Q スポーツ施設利用者の利便性向上に向けたオンライン決済の導入状況はどうなっていますか。

A これまでは利用者登録や使用料支払い、許可書発行のために利用者が窓口へ出向く必要がありましたが、令和7年4月から利用者登録だけでなく、支払いや利用許可書の発行まで全ての手続きをオンラインで行えるようになり、オンライン決済の利用割合は31%まで増加しています。今後より多く利用してもらうよう周知に努めていきます。

4. 市有建築物の維持管理について

整備された多くの公共施設が更新時期を迎える中、施設の安全確保が最重要で、日常的に施設の巡回点検が必要です。近年、ドローンを使って施設の状態を点検、調査することを目的に活用をしている自治体もあり、本市でも被災状況の確認や道路・橋の維持管理などにドローンを活用しています。

東京オリンピックや大阪・関西万博のドローンショーでは、位置情報をプログラムすると、複数のドローンが正確な動きができるまでになっているので、公共施設の維持管理でも広く活用できるのではないかと考えます。



Q 市有建築物の点検や調査における方法とドローンの活用状況はどうなっていますか。

A 市有建築物の巡回点検は技術職員が毎年実施しており、劣化や破損状況の早期発見と、軽微な不具合をその場での対応しています。ドローンの活用状況は、市が行う点検の際に、高所で目視による確認が困難な建築物に対し、技術職員がドローンを活用して撮影を行い、その映像により劣化状況を判断する点検を行っています。

【意見・要望】

- ・東静岡駅周辺や清水駅周辺での交通アクセスの改善を進めていくとともに、草薙駅や安倍川駅などでも、鉄道と路線バスとのアクセスを改善し、自転車置き場を含めた接続改善も進めてください。
- ・交通空白地などで地域が運行主体となった移動手段の提供に向けて支援していくとともに、地域で実際に携わる担い手の確保が難しいと思いますので、持続可能なシステムを構築してください。
- ・中心市街地にてクオリティの高い滞留空間を創出するため、駅前広場や青葉シンボルロードのリニューアルの際に、市民の意見を聞きながら魅力的な滞留空間にしてください。
- ・オンライン決済の次はレンタカーでも活用されているスマートキーの導入ができればと思いますので、システム導入費用と人件費削減効果などを考慮し、まずは実証実験から進めてください。
- ・ドローンは市有建築物だけでなく道路やトンネル、橋りょうなど、様々な状況確認が実施でき、今後補修ロボットと一体になったドローンも出てくると思うので、ドローンの最新技術情報をウォッチし、ドローンを操作できる技術者を採用する等、先を見越した人材確保をお願いします



静岡市議会では、本会議の様子を生中継と録画中継でご覧いただけます。
右のQRコードから、私の全質問項目が確認でき、本会議の動画もご覧いただけます。
是非、ご覧ください。



こじま・議会動画

来年度当初予算へ政策提言を行いました



志政会は 11 月 20 日、「来年度当初予算に対する政策提言」を難波市長に提出しました。

静岡市では、2050 年には人口が 50 万人を下回るという独自推計に対する強い危機感から、現在「第 4 次総合計画の見直し」に取り組んでいます。取り巻く環境の変化が一層厳しい中、今後に向け、自然災害への危機管理体制をより一層強固なものにしていくこと、市民・企業・団体などとの共感共創を核とした定住人口の維持増加につながる取組が不可欠です。提言書では、社会課題の解決に向けた共創の仕組みづくりや子育て支援の充実、防災体制の強化など 179 項目を要望しました。

【 来年度当初予算への政策提言（抜粋） 】

■ 自治体経営改革

① 社会課題の解決に向けた共創の仕組みづくり

- ・行政における D X / G X / B X 等のあり方について、他都市に置き換えることができる画一的なものではなく、静岡市の地域特性、強みを活かした取組を推進すること
- ・企業への取組については、中小企業を中心に設備投資や人材育成などへの具体的な支援を策定・推進すること

② 社会共有資産の利活用の推進

- ・社会共有資産の利活用推進について、社会的便益の最大化を目指し、全庁をあげて一体的に取り組むこと
- ・民間提案の積極的な導入、公的・民間施設併設など、民間活力を最大限に活かすこと

■ 商工・物流

① 企業誘致・立地対策

- ・一般社団法人静岡市土地等利活用推進公社と連携し、利便性の高い企業立地用地の創出をすること
- ・製造、物流、環境など、誘致する企業のターゲット産業を明確にし支援をパッケージ化して進めること
- ・市街地調整区域の活用について推進すること



■ 子ども・教育

① 子育て支援の充実

- ・第 1 子からの保育料無償化の実現を視野に、低所得世帯からの段階的な無償化対象範囲の拡大について検討をすること

② 保育所等の環境改善

- ・年度途中の待機児童ゼロと、いわゆる隠れ待機児童ゼロの実現に向けて、入園枠のより柔軟な適正配置を進めること
- ・病児・病後児保育室の 24 時間スマホ利用についての周知を推進し、急病時あんしん預かり保育を含めて、更なる保育室の拡充を図ること



■ その他

① 清水エスパルス新スタジアム・東静岡駅北口アリーナ整備

- ・渋滞や騒音対策、災害時の役割など、市民の理解が得られる対応を図ること
- ・目指すべき都市像に合致し有すべき機能を明らかにした上で稼働率・収益性をあげる計画をたてること

② 公共交通の基盤整備

- ・静岡駅南口の再整備計画では、バスの乗り換えなど交通結節点としての機能が、利用者にとって快適で円滑なものを目指すと共に、周辺道路の渋滞・安全対策についても推進すること



他都市のアリーナ・スタジアムを 視察しました



静岡市議会のアリーナ・スタジアム整備調査特別委員会で、10月30、31日に神戸市のGLION ARENA KOBEと広島市のエディオンピースウイング広島を視察しました。

GLION ARENA KOBEはバスケットB2リーグ「神戸ストークス」のホームアリーナですが、音楽イベントでの利用が多く、土日は1日600万円の使用料でも3年先まで予定が埋まっています。平日も含めて稼働率85%もあるようです。

エディオンピースウイング広島は、サッカーJ1リーグの「サンフレッチェ広島」のホームスタジアムで、収容人数28500人が毎回ほぼ満席になるようです。事業費286億円の35%が国からの補助金、27%が寄付ということで、企業からの大口の寄付が2社から30億円と20億円あり、個人からの寄付も合計6.4億円もありました。こちらは5万円以上の寄付でスタジアムの芳名版に名前を刻めるという効果があるようです。

これらの良好事例を静岡市のアリーナや新サッカースタジアムに活かせればと思います。



プレミアム付デジタル商品券「しずトク」が発行されます

国の経済対策の一つである「重点支援地方交付金」を活用して、プレミアム付デジタル商品券「しずトク商品券」が発行されます。また、デジタル商品券に応募が困難な方については、紙の商品券を発行します。（詳細は後日発表されます）



	デジタル商品券	紙の商品券
発行口数	67万口（全市民に1口分相当）	*デジタル商品券と紙の商品券を合わせた数
対象者	市内在住者 （家族による代理申込が可能）	75歳以上の市内在住者で デジタル商品券の利用が難しい方
発行方法	スマートフォンのアプリで デジタル商品券を発行	申請者に引換券を送付し、 区役所等で商品券と交換
発行額	1口5,000円で10,000円 （プレミアム率100%・5,000円分）	5,000円分
申込上限	1人最大2口まで	1人1口 *デジタルとの重複申込は不可
利用開始時期	令和8年4月上旬を予定	

「清水港海づり公園」が 令和8年4月より暫定的に利用できます



清水区新興津地区で整備が進められている「清水港海づり公園」の桟橋部分が令和8年4月より暫定的に利用できます。水深7～8mで釣りを楽しむことができ、ご利用にあたっては、釣り竿やライフジャケット等の貸出もあります。

【営業日】土日祝日（約120日）
【営業時間】
5月～8月 6:30～18:30
9月～4月 7:00～17:00
【利用料金】
大人 1,000円 小人 500円



議会だよりを送付させていただいた方の住所など変更がありましたら、お手数おかけしますが下記まで変更内容をご連絡ください。（今後送付不要の方も住所と氏名を下記までご連絡ください。）

携帯電話：090-3484-8199（ショートメールでも可）メールアドレス：kojimagoshihiko@outlook.jp